

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和8年7月21日（火）No.17
文責：情野 夏美

高島小学校 校内授業研究会に参加してきました！

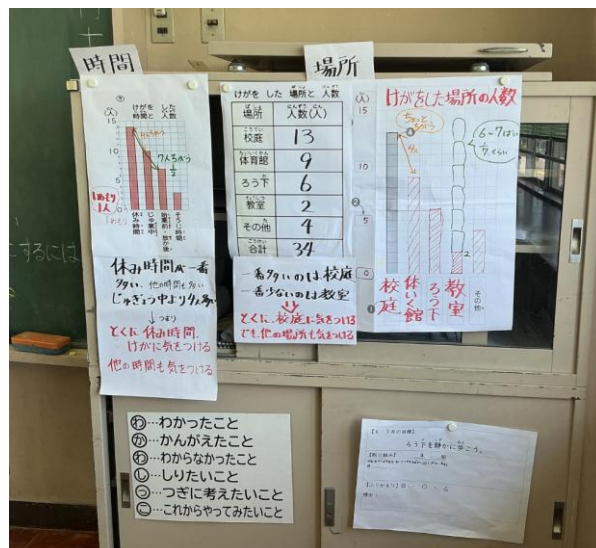
先日、高島小学校3年算数「ぼうグラフと表」の授業を参観してきました。2年目の先生が、子どもたちに何度も問い返ししながら授業を落ち着いて進められていました。授業を参観して感じたことを報告します。

●前時までの既習事項を掲示し、導入時に既習事項を確認する。

→今日の学びに入る前に、前時までの学習内容を丁寧に確認していました。その際、先生は、子どもの発言に対して問い返し、具体的な言葉が出てくるようにされていました。核心に迫っていて、前時までの積み上げがなされていると感じました。

●子どもの発言を視覚化

→子どもたちから出た発言をすぐに板書し、見えるようにしていました。子どもたちの声を大切にした授業になっていると感じました。



●よりわかりやすいぼうグラフにするために・・・

→今回の授業では、1めもりが5のぼうグラフでは、人数の多い少ないが分かりにくいことをとらえさせ、1めもりをいくつにするとわかりやすいぼうグラフになるかを考えさせることが大事だなと感じました。自力解決の際に、子どもたちは、ぼうグラフをかくことに必死になり、わかりやすいぼうグラフにするために1めもりをどうするとよいかということが抜けていたように感じました。ぼうグラフをかく前に、どんな工夫をするとわかりやすいぼうグラフになるかを考えさせる時間がもっとあってもよかったかなと感じました。そこに、友達同士の対話やICTの活用が入ってくるといいのかなと思いました。

